

〔指導項目〕 ごとの評価規準

保健体育科 体育

指導項目		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 体づくり運動	(1) 体ほぐしの運動 (2) 実生活に活かす運動の計画	・ 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながるについて言ったり書き出したりしている。	・ 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法を見付けている。	・ 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。
2 器械運動	(1) マット運動	・ 技の課題を解決するための動き方のポイントを言ったり書き出したりしている。 ・ 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。	・ 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	・ 器械運動の学習に主体的に取り組もうとしている。
3 陸上競技	(1) 短距離走 (2) 長距離走	・ 陸上競技の技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあるについて言ったり書き出したりしている。 ・ スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・ 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	・ 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	・ 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。
4 球技	(1) ゴール型 (2) ネット型 (3) ベースボール型	・ 各種目において用いられる技術や戦術、作戦の名称やそれらを身に付けるためのポイントを言ったり書き出したりしている。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ることができたり、シュートを打つことができる。 ・ サーブをを相手側のコートに打ち返すことができたり、相手からのボールを拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。	・ 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	・ 球技の学習に主体的に取り組もうとしている。

		・タイミングを合わせてボールを捉えることができたり、狙った方向へボールを投げることができる。		
5 体育理論	(1) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	スポーツは、世界各地で生まれ、近代になって、娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念として用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。	・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。